

議会だより ひらいずみ

第175号

令和4年5月1日

定例会3月会議

暮らしやすい町 平泉

衣川から上野台住宅へ移り住み、5年程前に泉屋に住まいを構えた富士田也さん。

ご近所の皆さんに、大変良くして頂き、野菜などのお裾分けも、ありがたく思っています。

(関連記事P20)



●主な内容

議会3月会議

山積する課題に予算を活かせ
令和4年度一般会計予算を議決…2

一般質問

ここが聞きたい

9議員が町長の考えを問う………10

平泉
いいな
シリーズ8

議会だより ひらいずみ 175号 発行/平泉町議会 編集/議会広報編集特別委員会 平泉町平泉字志羅山45-2 TEL 0191-34-5595 HP <https://www.town.hiraizumi.iwate.jp>

シリーズ

頑張る人

農業は面白い!

千葉博さん (平泉字要害)

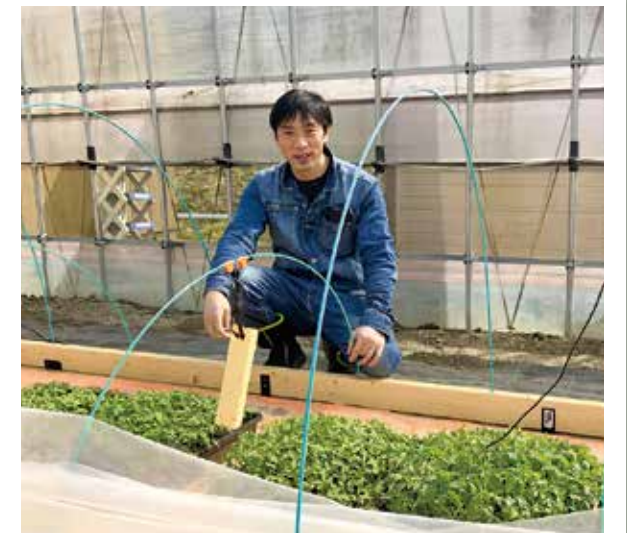
農業次世代人材投資事業が最長5年から3年に切り替わる5年前に、専業農家でやっていこうと思った千葉博さん(48歳)。

農業高校・大学を経て農協に入り、園芸を担当、水稻の苗作りをしてきた経験が役立ち、現在農協への苗を作っています。昨年末にビニールハウスを15a増設し、10月まではトマト栽培をおこないます。今年からリンドウも栽培予定です。

「農業を始めた当初、毎年のように水害があったが、4年目には収量が安定した」と語る千葉さん。

当初、反対していた妻が職場でトマトを売ってくれたことや、子どもが「親と同じことはしない」と言いながら、農大へ進学してくれたことを嬉しく思っています。

「農業は面白い」、「やって良かった」、「これからの若い人に農業が選択肢に入るような魅力ある職業にする」と語ってくれました。



苗が育ってきました。さあ、忙しくなるぞ!

あとかき

ロシアによるウクライナ侵攻の動向と、今後の世界情勢が心配です。国内においても、まだまだ新型コロナウイルス感染症が収まら

ない日々が続いています。また、3月から突発的な地震が起きています。議会としても、危機意識を持ち続けていきたいと思っています。議会だよりでは、町民の方々の「生の声」を掲

載しております。ご一読頂けたら幸いです。大友仁子

編集スタッフ

委員長	阿部圭一
副委員長	稲葉正
委員	升沢博子
委員	氷室裕史
委員	大友仁子

表紙の紹介

仕切りのないオープンな家族です

富士田也さんは、東京で国家資格を取り、浄化槽管理の仕事をしています。

平泉は子育ての環境が良く、0歳児保育などがあり、安心して仕事ができます。また地域では、誘われて



富士田也さん、純子さん、愛梨妙さん、夏葵さん

入会した「友和会」で、仲間と神輿を担ぐことがとても楽しみです。震災から11年が経ちました。最近では災害が多く、不安がある中で、非常時に備えようと家族で話し合っています。町に望むことは、おもいつきり身体を動かせる運動公園や、バスケットボールができる体育館が欲しいと思っています。毎週のように図書館から、本とDVDを借りていたので、学習交流施設「エピカ」のオープンを楽しみにしています。「エピカ」で、延期されていた夏葵さんの成人式が開催できるように祈っています。

町民の皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

議会だよりは再生紙を使用しています

山積する課題に 予算を活かせ

令和4年度一般会計予算 46億 4200万円を議決

定例会3月会議

議会定例会3月会議は3月7日から16日まで10日間の会期で開かれました。
一般質問には9人の議員が登壇し、直面する町政課題、施政方針、教育行政方針などについて町の考えをいただきました。
令和4年度一般会計、特別会計等の予算については、予算特別委員会を設置し、慎重審議の結果、原案どおり可決しました。

町道改良事業への予算を議決

町道大佐3号線・樋の沢大佐線
ルート選定の調査費 30万円

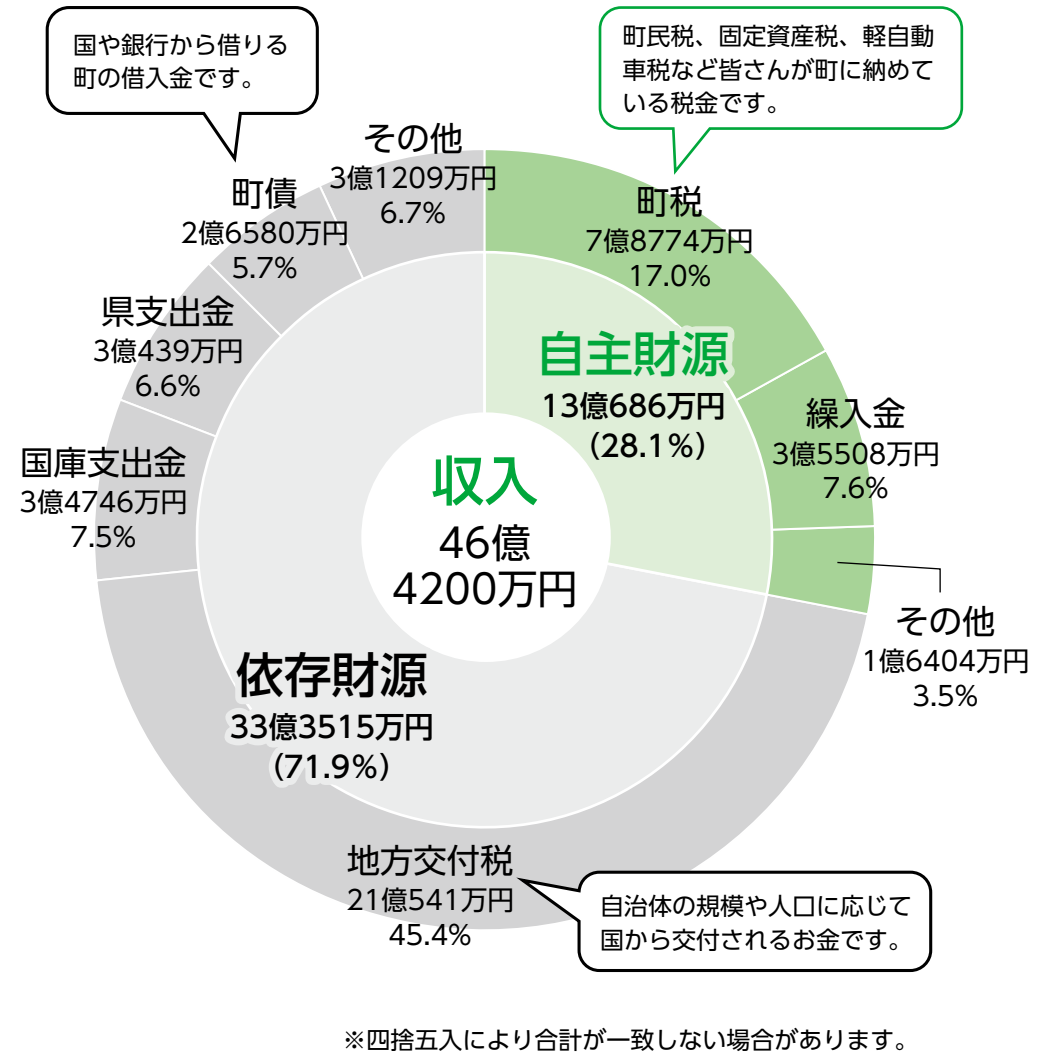
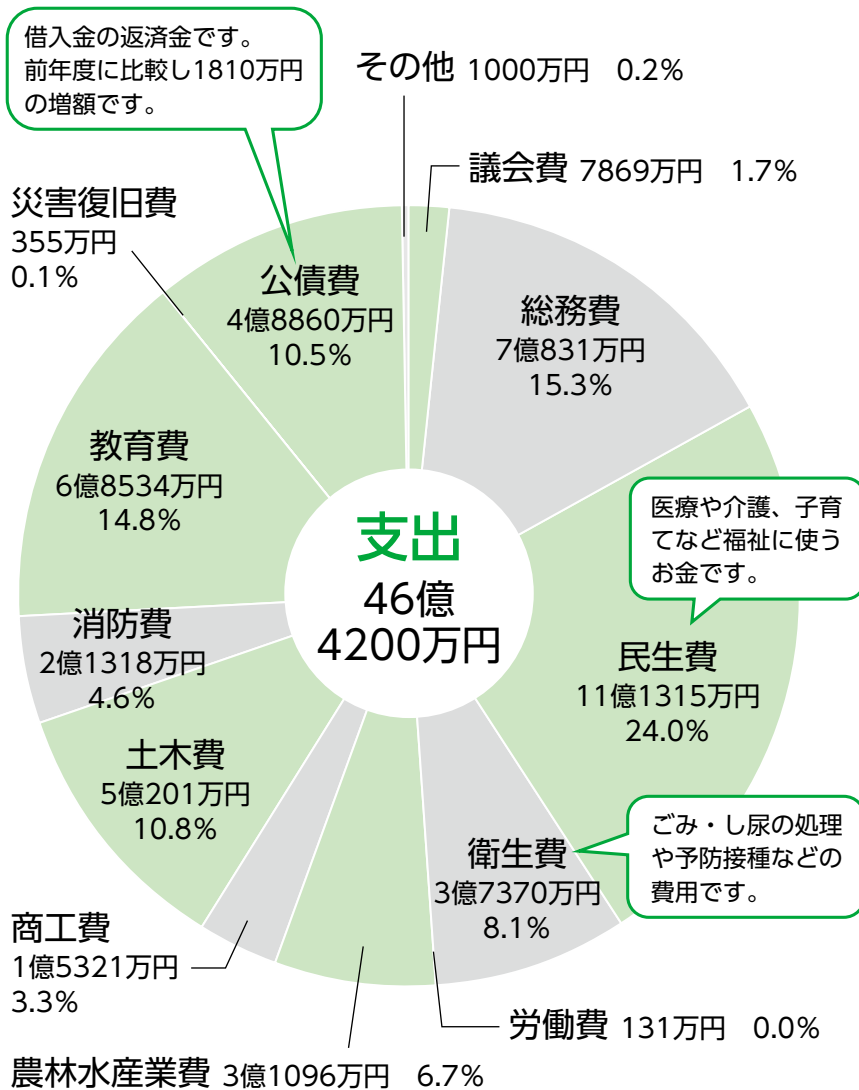


町民の声



路線近くに住む
木村孝貴さん
(8区)

大佐地区の町道（町道大佐3号線）が整備されると聞き、とても喜んでいました。旧国道4号から入る入口が狭く中型車両も入れず、災害時の不安がありました。今後の整備方針など、私たち住民への丁寧な説明が欲しいと思っています。



※四捨五入により合計が一致しない場合があります。

公共交通対策事業

コミュニティバス運行、
代替バス運行費など 891万円

町民の声



コミュニティバス長島南北ルートを利用し、平泉温泉へ
滝沢一夫さん、ツナ子さん (16区)

今日は金曜日、夫婦で平泉温泉にきました。フリー乗車になり、利用しやすくなりました。とにかく、出かける足が無いのは大変なので、本当にありがたいと思っています。火曜日は、デイサービスの日なので、ジョイスに行けないことが残念です。

学習交流施設



学習交流施設HP

「エピカ」施設管理料 5646万7000円

町民の声



整備に係る運営ワークショップに参加
若槻睦美さん (13区)

私達の「エピカ」をフル活用することで、豊かな心が育ち、未来を明るく描ける暮らしに繋がる重要な施設になってほしいです。そのためには、利用する側も関心を持ち、声を届けたいと思います。

令和4年度各会計予算

会計区分	予算額	一般会計から繰入等
一般会計	46億4200万円	—
特別会計	国民健康保険会計	8億760万円 5557万円
	後期高齢者医療会計	9640万円 2639万円
	健康福祉交流館会計	7490万円 3000万円
	町営駐車場会計	5330万円 —
下水道事業会計	収益的収入	2億8508万円 2億275万円
	資本的収入	2億1128万円
水道事業会計	収益的収入	2億9124万円 4036万円
	資本的収入	4億3773万円
合計	68億9953万円	3億5507万円

※単位未満を四捨五入しています。

新規就農者への起爆剤へ

問 新規就農者の育成総合対策補助金と支援補助金の違いは。

答 育成総合対策補助金は、経営開始や雇用就農への支援である。支援補助金は農業法人等へ加入した人への居住費等を町で支援する制度である。



阿部 圭二 委員

代替設備の設置を速やかに

問 令和4年度の消防施設工事費の用途は。

答 祇園にある防火水槽を埋めるための費用である。それに代わる設備の設置は検討中である。



水室 裕史 委員

健康福祉交流館への予算計上は適切か

問 健康福祉交流館活性化調査委託料200万円の計上は適切か。

答 専門的な視点から経営等に関し分析とアドバイスを受け、今後の健康福祉交流館のあり方に活かしていく。



猪岡 須夫 委員



プログラミング講座を修了した受講生

未来の産業へ活用

問 *IoTのまちロボット大会開催内容は。

答 プログラミングをより身近に感じていただくという講座の一つで、一関高専と連携し、IoTのまちロボット大会を開催する。



稲葉 正 委員

徴税に公平性を

問 町税滞納者への対応は。

答 早期に滞納を解消する必要がある。督促状で対応するが、状況に応じて分納等で対応する。



大友 仁子 委員

住民の安心、安全対策に予算を

3月11日、14日に予算特別委員会を開催し、令和4年度の予算を集中審議しました。

すべての会計予算案について、審査意見を付して、可決すべきものと決定しました。



予算特別委員長
高橋 伸二



副委員長
阿部 圭二

地方創生事業は

問 若者の働く場を創り出す地域経済牽引事業の投資効果と今後の見通しは。

答 全国からプログラミング講座に受講者が参加しており、その中に定住希望者もいる。今後も講座継続を予定し、起業の後押しもしていく。

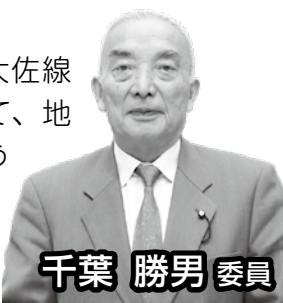


升沢 博子 委員

地域住民の要望を本格化へ

問 町道樋の沢大佐線ルート検討業務の内容は。

答 大佐3号線と樋の沢大佐線の連続した路線について、地権者とルート検討を行うため、ルートを調査する経費である。



千葉 勝男 委員

今後の企業誘致の方針は

問 新たな工業団地の考えは。

答 想定されるのは、一関市との境に位置している土取りの跡地6ヘクタールであるが、整備に向けた課題がある。



佐藤 孝悟 委員

農業へ新たな活力を

問 新規作物導入支援事業補助金の活用は。

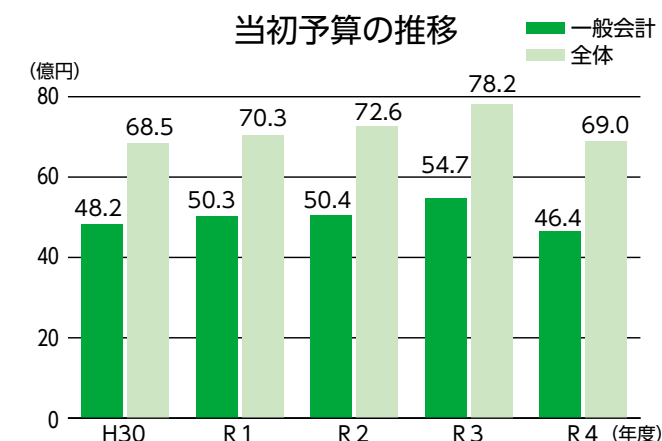
答 道の駅が推奨している3品目（とうもろこし、アスパラ、スイカ）と黄金メロンに対する補助であり、周知をはかりたい。



真籠 光幸 委員

審査意見

- 1 コロナ禍における農林業の振興策及び観光産業の活性化を図る対策を着実に推進されたい。
- 2 定住化対策の推進と子育て環境の拡充に努められたい。
- 3 健康福祉交流館の構造的課題の分析を進め、健全経営に積極的に取り組まれたい。
- 4 地域住民が希求している道路改良等は、財政計画を立案し、速やかに対応されたい。
- 5 新型コロナウイルス感染症により住民生活は犠牲と負担を余儀なくされている。住民の安心・安全対策に万全を期されたい。



児童支援員等の処遇改善を

問 児童クラブ管理運営委託料が500万円増額となっているが処遇改善によるものか。

答 人件費の増額に伴うもので、1時間当たり1002円から国の事業を使用し、1119円まで引き上げた。



三枚山光裕 委員

議会改革の取り組み

発議第3号 会議規則の改正

- ◆主な改正
 - ・質疑回数の撤廃
論点・争点を明確にするため、一問一答方式を取り入れ、質疑回数を撤廃しました。
 - ・押印の廃止
請願書等の署名の場合の押印を廃止しました。
 - ・協議・調整の場を設定
協議・調整の場に次の会議を設定しました。
 - ①全員協議会
 - ②議会改革推進会議
 - ③議会災害対策連絡会議

(様式)

(表紙)	(内容)
請願書(陳情書)	年 月 日
紹介議員 (陳情の場合は紹介議員不要)	平泉町議会 議長 ○○様 請願(陳情)者の住所 氏名 (署名の場合、印は不要)
	○○についての請願(陳情) (要旨)..... (理由).....

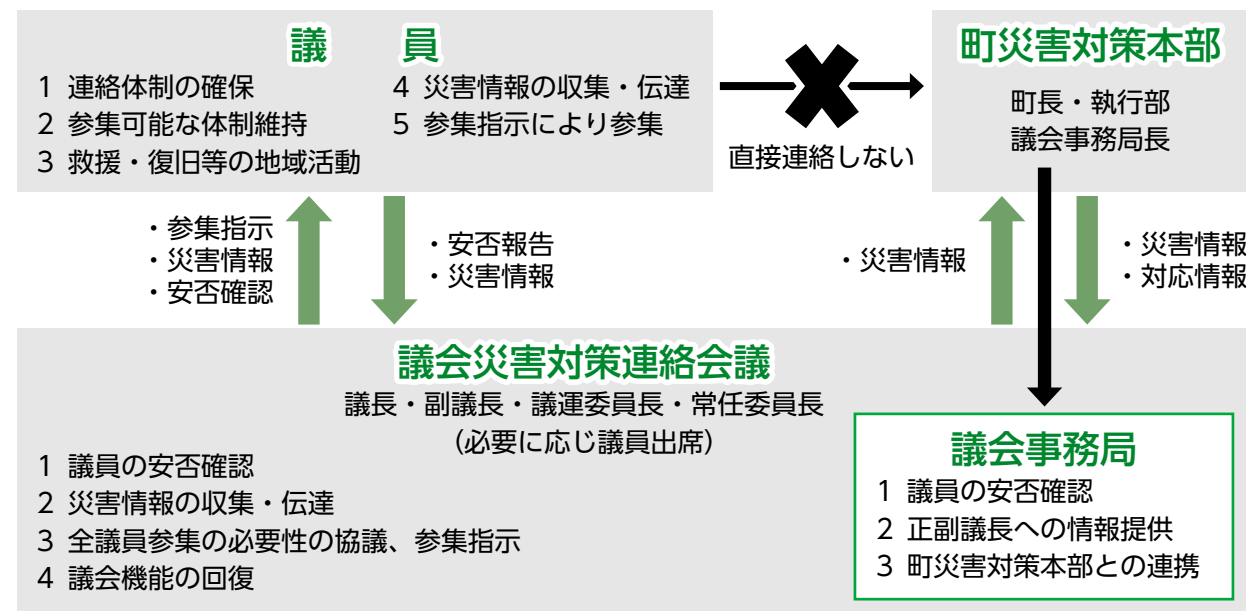
※用紙サイズはA4です。
※町政についての要望などを、請願として文書で町議会に提出することができます。

発議第4号 委員会条例の改正

- ◆主な改正
 - ・オンライン会議の実施に伴う改正
感染症のまん延防止措置の観点などから、委員会のオンラインを活用する会議への出席を可能としました。

大災害の時でも議会の役割を確実に果たすために「平泉町議会BCP」を策定

大規模災害発生時等の非常事態においても議会機能の維持を図り、迅速に対応する必要があることから令和4年3月1日に「平泉町議会業務継続計画(議会BCP)」を策定しました。
災害発生時の初動期対応から復旧・復興期の各段階において、必要に応じて審議・調査等が行えるよう体制を整えました。



防災の要、町消防団の処遇改善で団員減少に歯止めを!



～消防団員の報酬引き上げ～

消防団員の処遇改善を図るため4月1日から報酬が引き上げになります。また、消防団員の定数は「260人」から「220人」に改められました。

区 分	報 酬 額	改正内容
消防団員 班 長	年額4万6300円	1万2000円増額
消防団員 機関員	年額3万9500円	1万2000円増額
消防団員	年額3万6500円	1万2000円増額
出勤、訓練及び警戒報酬(消防団員、水防隊)	出勤1日につき 3時間以内 3000円 3時間を超え6時間まで 6000円 6時間を超えたとき 8000円 訓練・警戒1回当たり 3500円	出勤手当 5400円 訓練手当 2300円 からの改定

宿泊交流体験施設「浄土の館」指定管理者に光管財株式会社

指定期間：令和4年7月1日～令和9年3月31日



- 問** これまで指定管理を受けていた合同会社「ひらいずむ」への支援は適切であったか。今回の光管財への乗り換えは切り捨てではないか。
- 答** 会社の体制に不十分な点も見受けられた。決して切り捨てではないが、町に指導不足な点があったことも否めない。

- 問** 新たな指定管理者の光管財は清掃と警備を主とした企業ではないか。
- 答** 公共施設の運営について、実績がある。提案どおりの経営により、さらに良い施設となると考えている。

令和3年度補正予算

会 計	補正額	補正後予算額
一 般 会 計 (第11号)	△1億3527万円	59億6755万円
一 般 会 計 (第12号)	120万円	59億6874万円
特別会計		
国民健康保険会計(第3号)	1091万円	8億9443万円
後期高齢者医療会計(第2号)	△393万円	8809万円
健康福祉交流館会計(第3号)	△678万円	7160万円
町営駐車場会計(第3号)	△1262万円	4068万円
水道事業会計(第2号)		
収益的支出	119万円	2億7769万円
資本的収入	△1991万円	3億4478万円

令和4年度補正予算

会 計	補正額	補正後予算額
一 般 会 計 (第1号)	2871万円	46億7071万円

※単位未満を四捨五入しています。

討 論

反対です
猪岡議員

人件費は予算の25%に迫り、福祉にかかる予算は相対的に減少する。健康福祉交流館の修繕費は今後も増加し、財政調整基金は減少する一方である。前例踏襲の硬直した予算案に反対する。

議案
第18号

令和3年度の政策評価の結果を踏まえ、第6次総合計画の目標達成を目指し、予算配分されていると評価できる。多額の不用額、繰越額へ考慮した予算執行を求め、予算案に賛成する。

賛成です
升沢議員

コロナ禍の影響の中、観光業をはじめ、鳥獣対策、農家へ新しい支援もあり、子育て世代に向けても就学援助を幅広くしている。予算案に賛成する。

賛成です
三枚山議員



常任委員会所管の事務事業について調査を行い、町政に関する提言書をまとめました。今後の予算措置ならびに町政執行に取り組みられるよう、町長へ提言書を手渡しました。

調査期間 令和2年6月～令和4年3月

総務教民常任委員会

高齢者の主体性を尊重した自立支援を

提言1
地域住民の主体性を尊重した支援

過剰な支援・補助は地域のつながりを阻害することが懸念されるため、今後、地域が新たな組織や集いの場の構築を希望した際の相談・アドバイスの体制を充実させること。また、既存の町内組織へのヒアリングを行い、のちの地域組織の構築に資するものとすべきである。

提言2
既存事業の有効活用と機会の充実

既存の生活支援事業を一層周知し、活用することによって、高齢者がさらに活躍できる環境づくりに取り組むこと。また、平泉町コミュニティバスを町民のニーズに沿った形となるよう努めること。

提言3
高齢者の自立と認知症予防の取り組み

世代間交流を推進し、高齢者の見守り体制と町内のサポート施設の充実を図り、社会参画のきっかけを提供すること。

高齢者支援対策に関する
提言書

令和4年3月

総務教民常任委員会
委員長 氷室裕史
委 員 真筆光幸、佐藤孝悟
阿部圭二、猪岡須夫
稲葉 正

産業建設常任委員会

生活道路整備・鳥獣被害対策・世界遺産の新たな価値へ

社会基盤整備、農業振興策
及び観光・産業振興策
に関する提言書

令和4年3月

産業建設常任委員会
委員長 升沢博子
委 員 三枚山光裕、千葉勝男
高橋伸二、大友仁子

提言1
社会基盤整備

未認定、未舗装の生活道路について、現地調査を踏まえて課題が明らかになった。今後、整備の促進に一層の努力をされたい。

提言2
農業振興策

基幹産業である農業においては、世界農業遺産を目指し、鳥獣被害対策を含めた対策、仕組みづくりと十分な財源の確保を求める。

提言3
観光・産業振興策

コロナ収束後を見据えて、観光事業者への継続的な支援と、世界遺産の新たな価値を見出す積極的な施策を打ち出すよう提言する。

議案内容と審議結果

賛否のあった議案以外は全員賛成で可決しています。

議会定例会3月会議（3月7日～16日）

議案番号	議案及び内容	関連ページ
条例の一部改正		
第6号	平泉町個人情報保護条例 (法律の改正に伴う一部改正)	
第7号 (撤回)	平泉町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例等 (消防団員の報酬額の見直し、定数見直しに伴う一部改正)	
第8号	平泉町文化観光振興基金条例 (条例の期限を令和7年3月31日までに延長するための一部改正)	
第27号	平泉町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例等 (消防団員の報酬額、服務規律の見直し、定数見直しに伴う一部改正)	6
その他		
第9号	浄土の館の指定管理者の指定 (指定者：光管財株式会社 指定期間：令和4年7月1日から令和9年3月31日)	6
第10号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更 (飲料水供給施設事業の増額に伴う計画変更)	
第11号	町道の路線認定及び廃止 (認定路線6路線、廃止路線3路線)	
人事案件		
同意 第1号	懲戒審査委員の任命同意 岩淵 省一氏(新任) 任期：令和4年4月1日～令和4年9月30日	
議員提案		
発議 第1号	ロシアのウクライナ侵攻に抗議し非難する決議 (世界の恒久平和の実現に向け、ロシア軍が即時に完全かつ無条件で撤退すること、国際法にもとづく誠意を持った対応を強く求める)	
発議 第2号	「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める意見書の提出	
発議 第3号	平泉町議会委員会条例 (オンライン会議導入に伴う一部改正)	7

議案番号	議案及び内容	関連ページ
令和3年度補正予算		
第12号	一般会計補正予算(第11号) (基金繰入金2億1819万円の減額、寄付金1028万円の増額、新型コロナウイルスワクチン接種事業補助金2230万円などの補正)	6
第13号	国民健康保険特別会計(第3号) (保険給付費追加及び交付金返還金追加など)	6
第14号	後期高齢者医療特別会計(第2号) (広域連合への納付金減額など)	6
第15号	健康福祉交流館特別会計(第3号) (入館料等の減額など)	6
第16号	町営駐車場特別会計(第3号) (駐車場使用料等の減額など)	6
第17号	水道事業会計(第2号) (建設改良事業に充てる企業債(借金)の減額など)	6
第25号	一般会計補正予算(第12号) (子育て世帯等臨時特別支援金事業130万円の追加、社会教育施設に充てる起債額1630万円の減額など)	6
令和4年度当初予算、補正予算		
第18号～24号	一般会計及び特別会計等 7件	2～5
第26号	一般会計補正予算(第1号) (子育て世帯等臨時特別支援金事業2871万円の補正)	6
議員提案		
発議 第4号	平泉町議会会議規則 (質疑回数、撤回及び押印廃止、オンライン会議の導入等に伴う一部改正)	7
発議 第5号	高齢者支援に関する提言の提出(決議) (総務教民常任委員会の調査にもとづく提言提出)	9
発議 第6号	社会基盤整備、農業振興策及び観光・産業振興策に関する提言書の提出(決議) (産業建設常任委員会の調査にもとづく提言提出)	9

賛否のあった議題														(賛成：○、反対：×)		
議 案	議員名	大友	稲葉	猪岡	氷室	阿部	三枚	真竜	高橋	佐藤	千葉	升沢	高橋	賛	反	採決結果
		仁子	正	須夫	裕史	圭二	山光裕	光幸	伸二	孝悟	勝男	博子	拓生	成	対	
議案第12号	令和3年度一般会計補正予算（第11号）	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	－	10	1	可決
議案第15号	令和3年度健康福祉交流館特別会計補正予算（第3号）	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	－	10	1	可決
議案第18号	令和4年度一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	－	10	1	可決
議案第21号	令和4年度健康福祉交流館特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	－	10	1	可決
議案第25号	令和3年度一般会計補正予算（第12号）	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	－	10	1	可決

※採決に議長は参加していません。

議長交際費を公表します

1月分～2月分 支出なし
3月分 6000円(商工会60周年記念式典、フタバ平泉竣工式祝儀)

※詳細はHPをご覧ください。



議会定例会6月会議のお知らせ

6月9日(木)～16日(木)
開催予定

※本会議はインターネットで生中継しています。





眞 穂 光 幸 議員



道の駅への出荷促進を

問 農産物の出荷が困難な高齢農業者を支援する、庭先集荷を、町の物流支援事業として検討できないか。

町長 令和元年度に道の駅野菜出荷部会へ補助金を交付した。その後も継続している。町としての支援事業は考えていない。

問 自家消費している作物が販売でき、集荷も依頼できるとなれば、特に高齢の女性農業者の生きがいづくりに大きく寄与する。集荷には、コミュニティバスを活用することも方策として検討できるのではないか。

農林振興課長 ティバスの活用は、まちづくり推進課とも協議している。実現可能かどうか検討したいと考えている。

また、高齢者を支える仕組み作りは、保健センターと連携しながら、検討したい。

道の駅に出荷できる体制を

高齢農業者の集荷支援は

拉致問題を風化させないための啓発活動を

答 町民の意識を啓発していきたい



ブルーリボンバッジ

問 と、ご家族の高齢化が進んでおり、問題の解決には、一刻の

問 12月10日から16日までが北朝鮮人権侵害問題啓発週

教育長 人権問題として、拉致問題を考える機会を設ける重要性は認識している。活用の促進を図りたい。

問 拉致問題の映像作品を啓発として活用してはどうか。

町長 重要な問題である。提案どおり、ホームページに拉致問題に対する町民の意識を啓発するため、情報リンクを設けるなどを検討したい。

猶予も許されない。拉致問題解決に向けた理解促進を図るため、町のホームページに、内閣官房拉致対策本部への外部リンクを設けられないか。

町長 町民に周知した上で、バッジをつける事の意義合いを考え今後検討したい。

間である。12月定例会議には、町長以下幹部職員がブルーリボンバッジを着用し、臨む考えはないか。

その他の質問

- ・ 小学校の教科担任制
- ・ 学校保健統計調査
- ・ 学校等への不審者の侵入に対する備え
- ・ 生理の貧困への対処

拉致被害者のご家族の高齢化が進み、一刻の猶予ありません。必ず取り戻すという意志を国民が一丸となって示していかなければと思います。

議員のひとりごと

ここが聞きたい!

一般質問で町の考えを問う



一般質問は、議員が執行機関である町長などに対し、事業の状況や将来の方針などの諸問題について問うものです。
平泉町では一人60分以内の制限時間で質問を行います。

● 眞 穂 光 幸 議員…P 11

- ① 高齢農業者支援
- ② 小学校の教科担任制
- ③ 学校保健統計調査
- ④ 学校等への不審者の侵入に対する備え
- ⑤ 生理の貧困への対処
- ⑥ 拉致問題解決に向けた啓発

● 大 友 仁 子 議員…P 12

- ① 子育て支援
- ② 新しい時代に向けた学びの環境整備

● 猪 岡 須 夫 議員…P 13

- ① まち・ひと・しごと創生推進基金活用事業
- ② 平泉町交通施策
- ③ 健康福祉交流館「悠久の湯」

● 千 葉 勝 男 議員…P 14

- ① 町長の目指す町政
- ② 町道整備
- ③ 道の駅
- ④ 学習交流施設開館後の旧図書館、公民館の利活用

● 升 沢 博 子 議員…P 15

- ① 町長施政方針
- ② 子育て支援策

● 稲 葉 正 議員…P 16

- ① 上下水道の整備状況と今後の事業計画
- ② マイナンバーカードの普及と紐付け
- ③ SDGs 持続可能なまちづくり

● 三 枚 山 光 裕 議員…P 17

- ① 「ALPS 処理水チラシ」の配布への対応
- ② 水田活用の直接支払交付金の見直し
- ③ 農業機械等の購入に対する支援策
- ④ 保育士、福祉・介護職員等の処遇改善

● 高 橋 伸 二 議員…P 18

- ① 運転免許「自主返納者」への支援策
- ② 消防団・消防施設等の保全対策と運営補助金交付

● 阿 部 圭 二 議員…P 19

- ① 介護における「ケアラー」支援
- ② 町民の居住環境を守る支援

※掲載している内容は、質問者自身が要約し広報委員が校正したものです。
※議会ホームページでご覧いただけます。





議員 大友 仁子

3歳児健康診査での視力検査は

【答】屈折検査機器を導入する

問 視力は言葉や歩行などと同様に、成長に伴って獲得する能力で、3歳頃に大人と同じ視力に達するとされる。弱視は、早期発見、早期治療で改善できる。現状の検査方法で精密検査が必要とされた割合はどの程度か。

町長 令和2年度は対象者48名中、精密検査が必要とされた人は、2名である。このうち1名は屈折異常が発見され、治療に結びついている。令和3年度は、対象者37名中、精密検査が必要とされたのは2名である。

問 精密検査を必要とする人の割合が、年々高くなっている。保護者への視力検査の重要性の周知、啓発はどのように行っているか。



未来の子供たちを大切に

保健センター長 問診票に、重要な検査である旨を周知している。

問 3歳児視力検査に専用機器を導入する考えはないか。

保健センター長 現在の検査方法では、弱視を完全に発見することが困難なため、国の補助事業を活用し、屈折検査機器を導入する。

オンライン授業の課題への対応は

【答】学校と相談し、方向性を探る

問 GIGAスクール構想により一人1台の端末が整備され、全ての子どもたちの可能性を引き出す学びの実現が期待される。オンライン授業を実施するに当たり、課題は何か。

教育次長 オンライン授業を構築するためには、教員が資料を作成する必要がある。教育現場での準備のための労力が課題である。

問 ICT支援員の導入は考えているか。

教育次長 今年度導入する。情報モラルをはじめ、先生向けには一斉研修を行い、同じような研修を子どもたちにも行う。

問 先生方にICT機器を操作する教育が充分になされているか。

教育次長 タブレットに入れた

問 長期欠席をしている生徒・児童にオンライン学習を活用する考えはないか。

教育次長 不登校の児童・生徒に対する教育機会の確保の取り組みの一つとし

て、ICTを活用した学習支援があげられる。学校への復帰が望ましいが、学習の遅れが学校への復帰の妨げになっている場合もある。熱心に取り組み、力を伸ばそうと取り組んだ場合、出席扱いとすることも考えられる。

コロナ禍が続く中でのマスク生活。マスクから見える僅かな目元や目尻、早くマスクを外して、笑顔で会話をしたいものだ。

議員のひとりごと

新たな交通施策の本格実施は

【答】コミュニティバスが4月に本格運行へ

問 地域公共交通会議では、コミュニティバスの本格実施に向け、どのような協議がされたのか。

町長 4月の本格運行に向け、

利用者が困惑しないよう、軽微な変更とすることとした。新たに、道の駅、悠久の湯、他に2か所のバス停を加え、町民に限定していた利用を町外の登録者

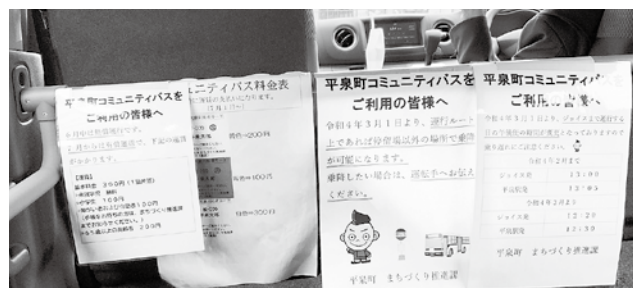
にも拡大した。バス停以外でも乗降自由の区間を拡大すること等を協議している。

問 夕方の増便の可能性は。

町長 引き続き課題を整理し、必要に応じて増便も含め、見直しを検討する。

問 東豊交通バスへの補助金が減額されるが、バスは引き続き利用できるのか。

町長 補助金は、が、引き続き事業者を支援し、一関線の維持に努める。



長島地域はルート上乗り降り自由

問 長島地区のスクールバス運行を求める声が従来から多数あるが、対応は。

教育長 長島地区については、既存のバスの有効活用が可能であるか、検討を進めている。

「悠久の湯」の運営状況は

【答】対前年比で改善の傾向にある



風除室で6人が9時50分まで待機

問 令和3年度の運営状況をどう捉えているか。

町長 今年度の入館者数は、対前年比17%増、入館料は24%増を見込んでいる。

問 町民の利用の実態は把握しているか。

町長 町民の利用実態の正確な数字は、把握していない。平日昼間は、町外利用者が多く、夕方7時以降は、町内の利用者が多いと捉えている。

問 無料券の種類やその利用割合は。

町長 ポイント優待、スクールカードへの謝礼、敬老祝品などがある。敬老祝品の使用割合は、配布に対して、32.6%である。

問 コミュニティバス利用で入館料100円引きとなる。バスは午前9時半到着

敬老祝い品の諸経費が浮くから「80歳以上のお風呂利用無料にした」と聞いても、返事なし。ア～ア！

議員のひとりごと



ち 葉 勝 男 議員



問

3期目を目指す決意を伺う。

町長

これまで企業誘致の実現、学習交流施設の整備、文化財の保存と活用、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策などに努めてきた。町民総参加でまちづくりを行うことが大事であり、平泉ならではの「理想郷」を目指し、全力を尽くす。

問

農業問題の現状をどのように捉えているか。

町長

農業従事者の50%が65歳以上であり、後継者も不足していることから、耕作放棄地が発生し、大きな問題となっている。そのため、後継者育成対策が本町の農業振興のために取り組む最重要課題であると考えている。

町長

地場産業の育成と活性化を図り、農家や事業者の収入確保と生産意欲向上に努める。また、県ガイダンスセンターとの相乗効果や、レストランでの看板メニューなど取り組みを考えている。

問

道の駅ひらいづみに関して、町の方針を問う。

町長

人口減少の要因は、自然要因である出生率の低さや、社会要因として若者の転出などである。若者の定住化に向けた結婚祝金、出産祝金、子ども医療費の無料化など、切れ目のない経済的支援が重要である。

問

人口減少は著しい。どう捉え、どのような対策を講じていくのか。

問

町道大平線の整備方針は。

町長

当該道路は共有地の所有者が一部不明であったが、令和元年5月に「表題部所有者不明土地の登記及び管理の適正化に関する法律」が成立したことを受け、法務局に所有者の探索調査

問

長島深山地内の町道の整備方針は。

町長

平成22年に改良舗装を実施した。生活道路の改良舗装は利用状況等を考慮し、順次舗装を実施している。現在調査中である。

その他の質問

学習交流施設開館後の旧図書館、公民館の利活用



整備が待たれる町道大平線

公民館がある花立の町有地の活用はどうするのか。新たな団地造成に活用できるのではないかと。人口減少に歯止めをかけるためには、より具体的な手立てが必要なのではないか。町の課題はまだ山積している。

議員のひとりごと

要望の出ている町道の整備方針は

〔答〕現状調査を経て課題解決に努める

保健、福祉、教育連携の子育て支援は

〔答〕子育て世代包括支援センターで連携

問

令和3年度に設置された、「子育て世代包括支援センター」の支援内容は。

町長

専任の保健師が妊娠、出産、子育ての様々な相談に応じ、情報提供、保健指導を行う。個別の支援プランを作成、保健医療・福祉の関係機関との連絡調整を行っている。個室の相談室を新設し、相談者

問

包括支援センターができたことの結果は。

町長

町民福祉課、教育委員会、幼児施設、保健センターが個別に行ってきた支援が、子育て世代包括支援センターの設置で各部署との連携会議を行い、サービス内容や課題、子どもたちへのかわり方等について情報共有し支援に繋ぐことができる。

問

国は令和5年度から「子ども家庭庁」を創設、令和



安心して相談できる場所に

青木町政の成果と課題は

〔答〕成果は施策の実現、課題は人口減少

問

町長の就任以来8年の施策の成果は。

町長

コンパクトな町の特性を生かし、町民との直接対話により、地域課題の解決策や方向性について一緒に考え行動してきた。その結果、子育て支援策、企業誘致、コミュニティバスの運行、学習交流施設整備などを実現した。

問

まちづくりの課題は。

町長

一番の課題は人口減少を食い止めることである。若者の転出が著しく、町に戻る若者が少ないことが原因と考えられる。その対策として子育て環境の整備と経済的支援、また雇用対策が重要であることから、企業誘致による受け皿づくりを進めていきたい。

問

町長は就任時に「職員が働きやすい職場環境を作りたい」と語った。役場職員が能力を最大限発揮できる職場づくりをどう考えているか。

町長

職員が力を発揮するには職員を心から信頼しなければ成り立たない。施策実現には、正に職員との信頼関係があったからである。今後も楽しく仕事ができる職場づくりに努める。

施政方針に男女共同参画の文言がなかったのが残念。当町の各種委員会における女性の登用率は22.1%。せめて30%を目指してほしい。

議員のひとりごと



稲葉 正 議員

上下水道の整備状況と事業計画は

〔答〕収支計画により料金改定を検討する



問 老朽化給水管、鉛製給水管の布設替状況は。

町長 老朽化に伴う給水管の漏水事故が多発、有収率低下の原因となっている。鉛製給水管の布設替状況は、平成27年度に策定した給水管更新計画に基づき、概ね計画通りに進んでいる。

問 浄水場、ポンプ場、他設備の更新改良状況は。

町長 施設の老朽化も進んでいるが、保守点検の結果と故障履歴、耐用年数を総合的に判断し、緊急度と重要度の高い施設から更新している。

問 地震等の災害に対する備えは。

町長 施設の老朽化も進んでいるが、保守点検の結果と故障履歴、耐用年数を総合的に判断し、緊急度と重要度の高い施設から更新している。

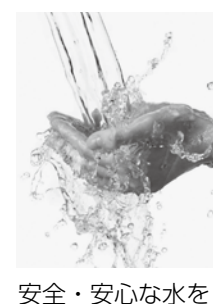
より、停電中の断水を回避している。管路をすべて耐震管に更新し、災害に強い水道事業を構築する。

問 今後の使用料金は。

町長 人口減少による料金収入の減少、施設の更新維持管理の継続が困難となることが想定される。収支計画により料金改定を検討する。

問 家庭に届く残留塩素の値は。

町長 1リットル当たり0.1ミリグラム以上0.3ミリグラム以下を確保し、安心で安全な水を利用している。



安全・安心な水を

問 マイナンバーカードの普及状況は。

町長 申請状況は令和4年2月末現在32.8%。交付件数は28.5%となっている。

問 保険証と免許証の紐付けは。

町長 令和3年1月20日から健康保険証利用の本格運用がスタートしている。ポイント申し込みは、令和4年6月頃からである。

問 銀行口座との紐付けと、住民が抱く不安感。

マイナンバーカードの普及と紐付けは

〔答〕住民票等は令和5年3月から稼働

町長 給付金などの受け取り用として、令和4年6月頃からの運用を予定している。様々なセキュリティ対策がとられ、秘匿性の高い個人情報記録は記録されておらず、カードを紛失しても、個人情報悪用されることはない。

問 住民票等コンビニシステムとは、どのようなことができるのか。

町長 全国のコンビニエンスストア等で、住民票・戸籍・印鑑登録証明書・税証明書を交付する体制を、令和5年3月の稼働に向けて準備を進めている。



総務省HPから



安心しておいしい水を飲むにはコストがかかります。人口減少は多くの問題の発生源。

議員のひとりごと



三枚山 光裕 議員



「ALPS処理水チラシ」への対応は

問 「ALPS処理水チラシ」が町・教育委員会に連絡もなく送られてきた。認識を伺う。

町長 県町村会も、十分な説明と海洋放出によらない方法も含めて、国の責任において検討する決議を採択し、国に要請した。

こうした状況下で町や教育委員会に一切の

連絡がない中で「ALPS処理水チラシ」を直接学校に送る行為は不適切な対応であったと認識している。

〔答〕今後は慎重に対応する

問 小・中学校の運営は平泉町と教育委員会が直接行うものである。教育的な観点からは、トリチウムを飲む挿絵があり、問題があると考ええる。真理と正義を学ぶ教育に持ち込まれることは、間違いではないか。

町長 通常、資料が国から配布される場合は、教育委員会に事前に通知があるが、今回は、通知が無かった。今後、十分協議の上、慎重に取り扱う必要があると考える。



復興庁作成のALPS処理水チラシ



農業機械の更新へ支援を

〔答〕支援策が必要と認識している

問 農業機械等の更新費用への支援が必要だが町の考えは。

町長 農機具の更新時に離農した方もあり、離農抑制対策は重要な課題である。農水省では農機施設の導入費を半額補助する担い手確保経営強化支援について、要件を見直し、担い手以外で

も、市町村が地域の農地を継続的に利用すると認めた農家も対象になり、最大100万円補助を受けることが可能になった。本事業を実施し、支援する。

問 共同でなく、個人でも支援を受けられることも必要ではないか。国の制度で対象とならない農家が使えるような支援、中古機械も対象にした町独自の支援の制度を研究してほしい。

町長 農機具の更新時に離農した方もあり、離農抑制対策は重要な課題である。農水省では農機施設の導入費を半額補助する担い手確保経営強化支援について、要件を見直し、担い手以外で

課長 町独自の支援策の必要性は認識している。今後の地域農業を担う



農地保全のノボリ（多面的機能）

べき力強い農業経営体への支援策について検討していきたい。

その他の質問
・水田活用直接支払交付金の見直し
・保育士・福祉・介護職員等の処遇改善

農業の直接支払制度を国が見直し方針。牧草関係は直ちに900万円余減の影響。町内の水田全てになると1億円以上に。青木町長の答弁にグッときたなあ。

議員のひとりごと



議員 橋 伸 二



問

町の第6次総合計画では高齢者の安全対策を重要課題とした。運転免許返納者に対する支援策は。

町長

自主返納した後の足の確保をしなければならぬ。コミュニティバスの運行の中で、状況を見定めていく必要がある。

問

高齢者の運転免許返納の推奨を町に求めるものではない。

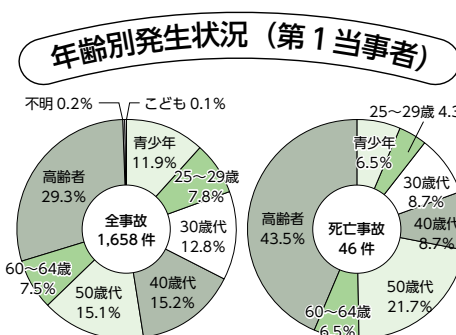
従来から、「運転免許返納者に対する支援を検討する」としてきた町が、第6次総合計画で新たな指針を定めた。その指針に基づく具体策は。

答 必要との認識はある

運転免許返納者への支援策は

町長

運転免許返納者に対する支援策は全く必要ないとは思っていない。



岩手県内の高齢者の事故割合

町長

総合的に判断する。検討に入れなくてはならない内容もあると思う。

婦人消防協力隊への支援は

問

消防団の運営に必要な経費の在り方、消防設備の保全管理に必要な経費、各分団の運営に必要な経費、これらを区分けし予算化すべきでは。

町長

一定程度の修繕費と、各分団の自主性を尊重した補助金は各分団に措置している。また、故障や不具合等が生じた場合は、補正予算で必要な措置を講ずる。

問

限られた予算の中で、住民の命と財産を守るための支出は優先されるべきである。消防団運営にかかる経費の基準を作る考えは。

総務課長

安全なまちづくりは重要課題であり、消防団とも相談し、基準等を含めて検討する。

問

婦人消防協力隊への支援は検討できないか。

総務課長

協力隊も消防団と連携しながら様々な防災活動に取り組んでいたが、支援策の



出初式で行進する婦人消防協力隊

答 要望があれば検討する

検討には至っていない。

問

協力隊はボランティア組織であり、支援対応は困難とする一方で、一現物支給」は検討の余地があるのではないか。

総務課長

消防団等との意見交換の中で協力隊からの要望を聞き、現物支給については、今後検討していきたい。

72名の町民が過去3年間で運転免許を返納している。県内では15の市町村が免許返納者への支援を行っている。わが町も遅れることなかれ!!

議員のひとりごと

ヤングケアラーに学習環境を

答 別室登校などでサポートする

問

ヤングケアラーの早期発見・支援のためには、福祉・介護・医療・教育の連携した対応が必要ではないか。

教育長

各学校にいないものと判断している。認識や知識を深め、適切な支援、相談体制の環境をつくる。

問

ヤングケアラーに対し、いかな

教育長

コンパクトな町なので、地域の情報などを共有しやすく、早期の段階で把握できると感じている。個々の子どもたち



議員 部 圭 二



ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアをする人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



厚生労働省HPから



住宅助成の方針は

答 若者向けに補助制度を創設する

問

町の居住環境を守る支援として、移住者や町民に住宅改築の助成を行うべきでは。

町長

令和4年度より若者向け空き家住宅土地取得補助金、上限30万円の制度を創設する。

問

店舗リフォームの助成をしてきたが、商店の数は減少しているのか。

観光商工課長

年間2件から3件の助成をしているが、若干減少している。

問

国のリフォーム事業や「子ども未来事業」などの事業を周知しているのか。

建設水道課長

民間の住宅の補助制度で工務店が窓口

マイナスな感情を持つ若者たちが自分に合った学習により、子どもたちの未来や町の未来の可能性が広がる。

議員のひとりごと